

第 105 回目の GIS News! です

6月に入り梅雨の季節となりました。うっとうしい時期ですが、梅雨に生える紫陽花が、私たちの目を和ませてくれます。雨の外出もまた風情があります。ぜひ、お出かけになって気持ちだけでも爽やかに過ごしましょう。



防災GIS

災害時には、「いつ」、「どこで」、「どのような」被害が発生しているのか早急に把握しなければなりません。そして県や市町村、消防といった関係者が一体となった的確な応急対策を行うためには、正確な現場状況を知る必要があります。しかし、これまで「どこで」という位置や場所を表す情報を関係者の間でやり取りするためには、次のような困難がありました。

- ・ 地図が用意されていない。
- ・ 地図があっても作成年代や縮尺が異なる。
- ・ 地図があっても電話を使って位置を正確に特定するのは困難である。
- ・ FAXで地図をやり取りするには時間がかかる。

これらは、地図や使用しているシステムが独自であったりすると、整合性が図られないために発生するケースが多いのですが、この問題を少しでも改善しようとする動きとして、岐阜県と県内の各市町村が、今年の4月より個別に構築していたGISを一元管理する「県域統合型GIS」の運用を開始しました。都道府県のレベルで自治体がシステムの仕様を統合し、運用するケースは初めてのことです。

今回の仕様の統一により、岐阜県はデータの共有化をさらに進めることができると同時に、システムの維持管理費用を取り組む前と比べて年間で約3割削減できると試算しています。

自治体が住民サービスを向上しつつ、コストダウンを図ることは、私たち地域住民にとっては大変ありがたいことです。

岐阜県ふるさと地理情報センター県域統合型GIS

<http://www.gis.pref.gifu.jp/index.html>

また、神奈川県藤沢市のホームページ上にある災害対策課でも、防災に関する情報を公開しています。

藤沢市 総務部 災害対策課

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bousai/data10122.shtml>

次回の GIS News!

今回は、2006年7月10日発行予定です。よろしくお付き合いください!

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 笹原 祥司 発行日：2006年6月12日